

覧古考新

岡谷市史編さん室だより『覧古考新』No.30

2025(令和7)年 6月-②

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん室 編集・発行

岡谷市中央町1-11-1 イルプラザ3F

TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

覧古考新：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

おかげさまで30号

シリーズ 岡谷市史下巻以降のおもなできごと ⑬ 文化施設 一中編一

広報誌などから旧市史＜岡谷市史下巻1982（昭和57）年刊行、編年：昭和20年～昭和53年＞以降の岡谷市政を中心に、テーマを設けてシリーズとして拾っています。今回は「文化施設」関係の中編です。

西暦	和暦	年	月	出来事
2002	平成	14	6	中央町再開発ビル（イルプラザ）がリニューアルオープン
2003	平成	15	4	イルプラザ3階に開設した生涯学習館 （カルチャーセンター）、子育て支援館 こどものくに が本稼働（オープン記念事業3/21～3/23）
2004	平成	16	2	岡谷太鼓道場「鼓鳴館」オープン
2004	平成	16	12	きぬのふるさと 岡谷絹工房がリニューアルオープン
2005	平成	17	2	旧岡谷市庁舎、旧山一林組製糸事務所等が国登録有形文化財に登録
2007	平成	19	11	旧山一林組製糸事務所などが「近代化産業遺産群」に認定
2011	平成	23	8	「岡谷蚕糸博物館の繰糸機群」が日本機械学会機械遺産に認定（→後編で紹介）
2012	平成	24	5	新病院建設に伴う岡谷美術考古館の移転先が童画館通りの「ぎょうだ」に決定



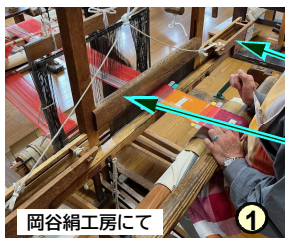
⑨ 鼓鳴館

前号の回答から・

機織りの道具です。読みは？

杼

「ひ」
でした



岡谷絹工房にて

杼

箴

【おさ】 枠に鋼・竹の薄板（箴羽（おさは）を多数並べた櫛形のもので、長方形の框に納まっている。箴羽のすき間にたて糸を通す。

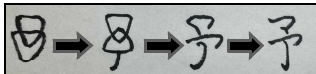
「杼を飛ばす」

②



岡谷絹工房にて

字源→



機織りの横糸を左右に走らせるための道具である杼（ひ・シャトル）の象形で、杼が移動するさまを描いている。予は杼の原字

岡谷市 近代化産業遺産群 —岡谷市内15件が認定—

日本の経済産業省が認定している文化遺産の分類である。2007年（平成19年）11月30日に33件の「近代化産業遺産群」と575件の個々の認定遺産が公表された。

岡谷市近代化産業遺産群を紹介するパンフレット

（岡谷市HP）



④ 旧林家住宅／洋館玄関



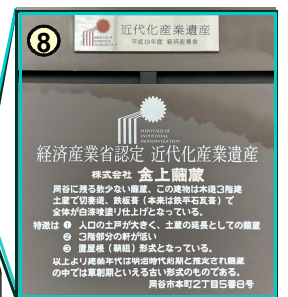
⑤ 旧山上宮坂製糸所



⑥ 丸山タンク



⑦ 株式会社（旧）金上蔵倉庫



岡谷市民の宝だね！

一山力（イヤカ）林製糸所の初代林国蔵の住宅。主屋と離れの座敷、茶室、洋館に分かれ、土蔵が並ぶ。国指定重要文化財

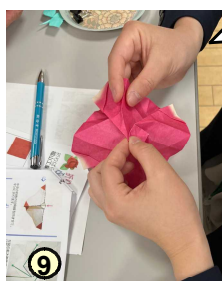
大正～昭和の全盛期と戦後の復活期に中規模の製糸工場として発展した。敷地内には昭和2年に建築された事務所をはじめ、一連の工場体系が残されている。

大正3年に市内間下（ました）地区南側の塚間川（つかまがわ）の西方一帯の製糸工場への給水のために建設された。天竜川にポンプを設置し、導管により水を揚げた。

岡谷に残る数少ない蔵倉庫。建築年代は明治期と推定される。木造三階建、鉄板葺

写真①②③⑥⑨ 2025年 岡谷市史編さん室撮影
写真④⑤⑦⑧ 2024年 岡谷市史編さん室撮影

イルフラザが全館オープン



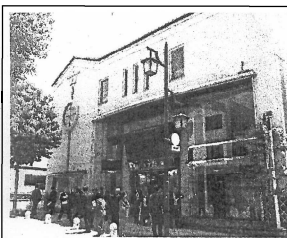
「カルチャーセンター講座」
「大人の折り紙講座」
制作場面



各種講座案内（令和7年5月末現在）



カルチャーセンターのあるイルフプラザ



美術考古館移転先

ぎょうだに決定

開館は来年5月ごろ

3階は市民の交流・
展示スペースに

計画では、東急を核
とする中央町再開発事
業に伴い95年建築さ
たぎょうだ店舗（鉄
道の沿道）に、正ぐ

今井市市長は日の市会合協議会にて、新病院建設に伴い本年度中に取り壊す立寄（美術考）館の移転先を、2011年9月に閉じ、現在は空き店舗になっている調布通、商店街の呉服店（？）のような（？）田舎路に、決定したと報告した。一般市民が交通の便がヤラリ（？）として活用できる、まちなか交流路、展示スペースを備え、単に美術品や考古品を展示するだけではなく、中心街地にあつたものさのき創出にもつながる恒久的施設である。新美術館古蹟来館（？）による調布通を予定しており、市は整備に向けた概算事業費（概算）を感った本年度一般会計予算案を、市会（？）で定例会に提出した。

まちのにぎわい創出する恒久施設に
事業費2億円を6月定例会に提出

岡谷市生涯学習館の案内
館内案内・休館日・
利用予約・講座・
イベント情報(岡谷市HP)



商店街の中
に美術館が
やってくる！



美術考古館へ改修前の呉服店「ぎょうだ」

コラム 渡辺三大臣3回シリーズ ② 渡辺国武（くにたけ）大蔵大臣

前回に続き、渡辺三大臣シリーズその②です。今回は渡辺千秋の弟、国武を紹介します。

明治時代に近代日本の財政の基礎を築いた男

国武は、長野県出身の初めての大臣として有名ですが、大臣任命以前の大蔵省官僚時代から大久保利通や伊藤博文ら明治のリーダーの信頼を得て、日本の財政の基礎づくりに手腕を発揮しました。地租改正による税制の大改革、国家会計諸法規の整備による帝国憲法の制定、第1回帝国議の転換、欧州外遊等、日本を創るための明治期の国政に大きく関わっている伊藤博文の右腕であり、明治維新後の藩閥政治の中で、役人から大臣もありました。



人物肖像写真出典:
フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』
(パブリックドメイン)

参考文献：「渡辺三大臣と旧渡辺家住宅」平成4年11月20日発行 旧渡辺家住宅保存協会研究委員会
「長地学校百年史」昭和53年4月15日発行 長地学校百年史編集委員会

渡辺斧蔵

三男
渡辺国武
1846-1919

次男
渡辺千秋
1843-1921

●
●
●
●

国武の養子へ

三男
渡辺千冬
1876-1940